

中塚の開発した自己・他己双対検査にみられる男性教員と女性教員の特徴

○西本素江¹・清重友輝²・中塚善次郎²(¹徳島市城西中学校・²ひびきのさと人間精神学研究所)

1 問題と目的

男性教員と女性教員の意識傾向の特徴について、中塚(1994)の構築した「人間精神の心理学モデル」と「自己・他己双対理論」に基づいて検討する。

中塚(1994)によれば、人間の精神は「自己」と「他己」という2つの相矛盾する弁証法的モーメント(契機)から成り立っている。

「自己」とは自分を主張する側面であり、「他己」は他者に心を向け、他者を尊重しようとする側面である。この2つのモーメントを軸に、人間の精神構造をモデル化したものが、「人間精神の心理学モデル」(表1)である。

表1 人間精神の心理学モデル

精神の弁証法的二重性と機能(中塚, 1994)		
自己のモーメント	他己のモーメント	固有な機能
自我	人格	統合性・目的性・一貫性
認知	言語	知能, 知識の創造と蓄積
感覚	運動	技能, 外界への適応行動
情動	感情	通心, 内界の心的な処理
個人的無意識	集会的無意識	遺伝形質と生の衝動 人類が共有する無垢なもの

次に、自己・他己双対検査は、「人間精神の心理学モデル」(表1)における、情動・感情及び、自我・人格機能領域の「自己」と「他己」を測定する。1「欲望追求」、2「出世追求」、3「自己追求」、4「社会貢献」、5「他者志向」、6「秩序尊重」の6尺度からなる。

1「欲望追求」は、自分の幸福を実現する欲望を示す。表1の情動領域の尺度である。2「出世追求」は、名利を追求しようとする自己実現の欲求を示す。自我領域の尺度である。3「自己追求」尺度は、自己実現の欲求を示す自我領域の尺度である。以上が「自己」を測る尺度である。

次に、4「社会貢献」は、人の役に立ちたい、人に無償の愛を捧げたいといった社会意識を示す人格領域の尺度である。5「他者志向」は、思いやりや共感心など、人の心を感じるこころの働きを示す感情領域の尺度である。6「秩序尊重」は、規範や伝統など社会意識を示す人格領域の尺度である。以上が「他己」を測る尺度である。

各尺度には3つの質問項目があり、回答は一对

比較法で求める。

2 方法

1) 2018年度と2019年度にA中学校教員(男性22名、女性33名)を対象に、中塚(1994)の開発した自己・他己双対検査を実施した。

2) 個人ごとに自己・他己双対検査の全項目を点数化し、尺度ごとの点数を求め、國重(1999)の平均と標準偏差を使い、z得点を求めた。

3) 男性教員と女性教員のz得点の平均をプロフィールに描き(図1)、その特徴について検討する。

3 結果と考察

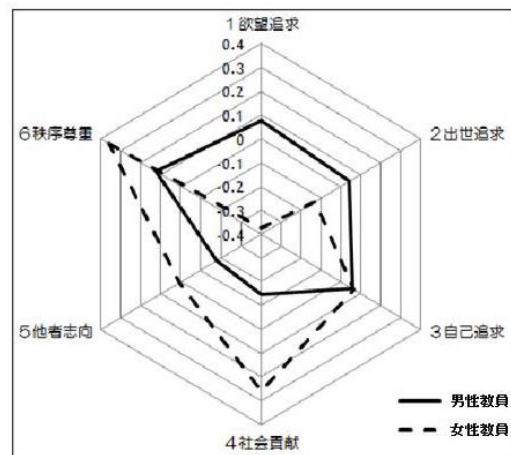


図1 A中学校教員男女別意識傾向の比較

中塚・清重(2008)によれば、男性は「自己」優位の傾向があり、他者よりも自己を尊重する傾向が強く、自己追求的な性質をもつ。女性は「他己」優位の傾向があり、自己よりも他者を尊重する傾向が強く、向社会的な性質をもつとされる。

今回の調査結果は、図1に示されているように、男性教員は「自己」が優位であり、女性教員は「他己」が優位であるということが出来る。

ただし、「自己追求」尺度には差はみられない。その理由は、女性教員の教師としての自己を追求し、高めようとする「自己追求」意識の表れを意味しているのではなかろうか。

文献

- 1 國重絵美(1999) 鳴門教育大学修士論文
- 2 中塚善次郎(1994) 人間精神学序説, 風間書房
- 3 中塚善次郎・清重友輝(2008) 男性性・女性性と自立・依存 美作大学・美作大学短期大学部紀要, 53, 33-38